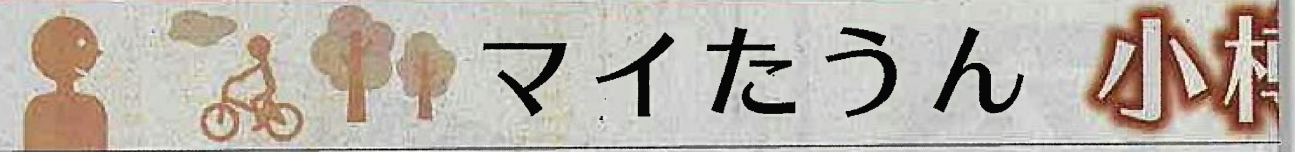
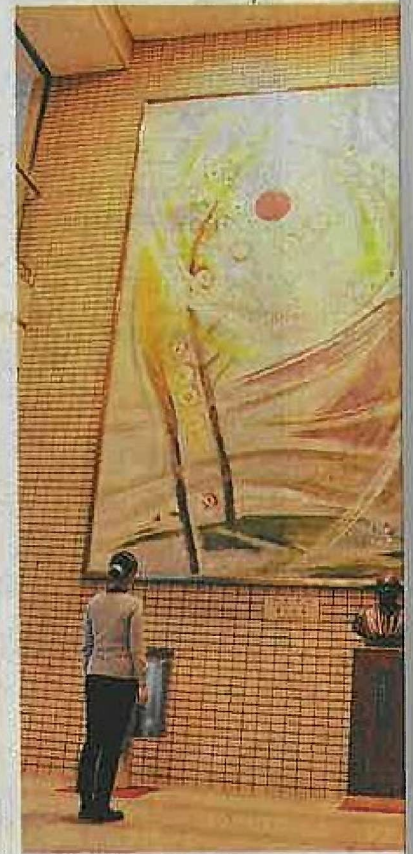


小樽支社報道 ☎0134・22・6171
メール otaru@hokkaido-np.co.jp
FAX 33・0726

俱知安支局 ☎0136・22・1004
余市支局 ☎0135・23・3290
岩内支局 ☎0135・62・0189



⑤「ふるさと」は当館2階の「復元アトリエ」で7月12日まで展示中
⑥共和町役場ロビーに設置されている大型美術陶板。開庁時間内は自由に見学できる



企業の技術力間近に

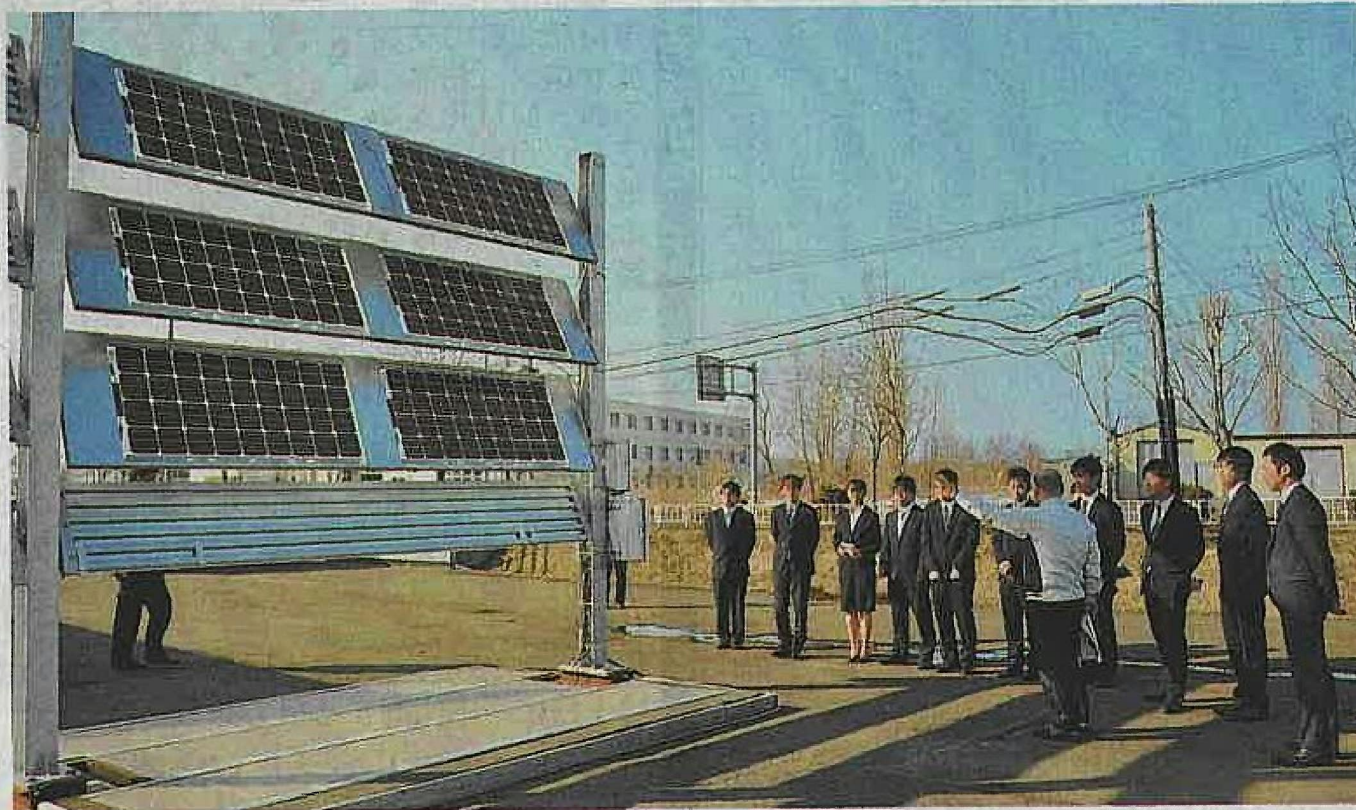
千歳科技大生 小樽に「ツアー」

千歳科学技術大(千歳市)の学生9人が、小樽市銭函3の防雪柵メーカー、理研興業(柴尾耕三社長、従業員27人)を訪れ、地域に根ざした製品の高い技術力を学んだ。

同大が2年前から実施している「企業見学バスツアー」の一環。ものづくり企業を訪問して、製品やサービスがどのような社会に提供されるかを体感し、業界の知識を深める学生の企業研究の機会になっている。今年3月上旬に健康食品などを開発するバイオ系の企業を2社訪問したほか、19日も理研興業を含め2社見学した。

理研興業は創業60年の防雪柵製造のトップメーカーで、国内で70%ほどの市場占有率を誇る。学生たちは実験設備を見学しながら、太陽光で発電しながら融雪もできる防雪柵や、照明を取り付けて吹雪の中でも車の運転手に防雪柵の位置を知らせる製品など、商品化に向けて準備中の現場の説明を受けた。

総合光科学部2年の宮田詩帆さん(20)は「大きな機械などを作るものづくりに興味があって参加した。知らない分野の話聞けてとても勉強になりました」と話していた。(石井慧)



太陽光発電で融雪もできる防雪柵を見学する学生たち

絵の具でサインが記されている。モチーフに溶け込むようなサインの描き方も、この画家独特のものだ。
西村は生前よく語っていた。「不思議だね。いつでも、何につけても、小沢(町内旧小沢村)のことが頭に浮かんでくるんですよ」
本作を原画としてつくられた縦4・9尺、横3・6尺の巨大な美術陶板は、共和町役場庁舎ロビーの吹き抜けに飾られ、訪れる人に故郷への思いを語りかけている。

メモ

西村計雄記念美術館(共和町南幌似)
開館時間午前9時～午後5時。月曜日休館。料金は一般500円。問い合わせは同美術館☎0135・71・2525へ。